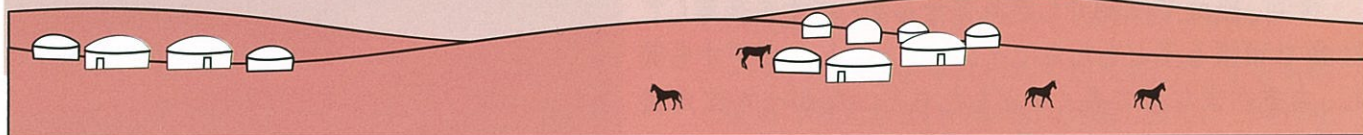


Newsletter

vol.39

「ぴあ・かもみーる」日記 ⑱ ●
パオ13周年記念イベントリポート ●



パオの
現いま在

「ぴあ・かもみーる」日記 ⑱

ある日、夕食時にAちゃんが「デザートにチーズホットク作ろうよ」と言い出しました。10代の女子にインスタ映えすると人気の韓国のおやつです。みんな乗り気です。まだ食べたことがないという子もいる中、Aちゃんが「この前大須で食べたから」と作り始めました。助手に抜擢された私はレシピを見て材料を計量して生地を作り、Aちゃんが生地にチーズをたっぷり入れて形づくり、たっぷりの油で揚げてくれました。出来上がったチーズホットクは、揚げると想像以上に膨らんで特大に。それを見てみんな「カロリーやばくない?」と言って笑い、これが人生初のチーズホットクだという子は「え?こんなに大きいの?」と驚き、Aちゃんと私は「これでいいんだって!」と開き直り、ワイワイとみんなで食べ始めました。

いつもはダイニングテーブルの自分の席で食べるのですが、なぜかこの時はみんなキッチンカウンターの周りに集まり肩を寄せ合って食べました。「美味しい」「やばいね」「ダイエットは明日からね」と盛り上がり、隣り合って座っているBちゃんとCちゃんは冗談を言い合って笑っていました。ところが、徐々に二人の雲行きが怪しく…。心配する私をよそに、BちゃんとCちゃんの言葉はさらに強くなっていきます。そこで私は「しょもないことで姉妹ゲンカしない!」と間に入りました。一瞬その場が静まります。「あ、まずかったかな?」と思いかけた時、周りの子が笑い出しました。とがめられたBちゃんとCちゃんも笑い出しました。そして、Bちゃんが「私たち、なんか家族みたいだね」と言ったのです。Aちゃんも「ほんとだ。家族みたい」と。

そこからは、誰が長女で誰が末っ子で、自分は何番目かという話題で盛り上がりました。無邪気に笑う彼女たちを見ながら、「家族」という言葉にこの子たちはどんな風景を重ねているのかなとちょっぴり切ない気持

ちになったと同時に、ぴあかもが「家族みたい」に喧嘩したり笑ったりできる場所だと思うと嬉しい気持ちにもなりました。

今年4月からぴあ・かもみーるにスタッフとして配属されて約半年。季節の果物を送ってくださる方、たい焼きを届けて下さる方、お米や調味料など生活に欠かせない品々を送ってくださる方、ボランティアの皆様、また、パオのイベントに参加して下さった方など、たくさんの方々がぴあかもに思いを寄せて下さり、子どもたちを応援して下さいていることを感謝しています。私たちスタッフにも大きな励ましとなっています。

現在ぴあかもで暮らす5人のかしましい女の子たち。毎日バイトをして自立するための資金を稼ぎ、さらに通信制高校で卒業を目指して勉強し、週末はスクーリング、中には夜間の専門学校に通う子もいます。若い人の言葉を借りるとしたら「まじ神」な彼女たちです。

まじ神な彼女たちも、それぞれの1日を終えて帰ってくると、普通の10代の女の子。ぴあかもに来る前は、家に居場所がなく、たくさんの悲しみや痛みや怒りをひとりで抱えてきた彼女たちが、ここではテレビをみてゲラゲラ笑い恋愛話にも花を咲かせる「普通の10代の女の子」の顔を見せてくれる。そのことは私はとてもうれしくて、朝、テンション低い彼女たちにうっとうしがられても、「おはよう」と声をかけ続けます。「今日もあなたのこと見てるよ」「あなたのことが大好き」という思いを込めて。(スタッフK)

